



# 学校だより

No.11

自ら学び考えることができる生徒 感性豊かで思いやりのある生徒 心身ともに健康な生徒

大田区人権教育研究協力校

令和元年12月25日

大田区立糞谷中学校

校長 小島 宏一郎

## 2学期を振り返って

12/25 2学期終業式講話より

校長 小島宏一郎

おはようございます。78日間の長い2学期も今日で終わり、終業式を迎えることができました。

2学期を振り返ると、たくさんの行事がありました。立会演説会に始まり、1年生の移動教室、2年生の農業体験、生徒発表会、また、連合陸上競技大会や連合学芸会などの大田区全体の行事。定期考査も2回ありました。皆さんは、それぞれの行事に目標をもって取り組み、成果をあげ、たくさんの思い出も残したことと思います。特に、生徒発表会では3年生が良い見本を示し、学校全体が一生懸命に取り組み、大きな感動を与えてくれました。それぞれの取組での成果は、生徒の皆さん一人ひとりの頑張りと、クラスや学年の仲間との協力があったからだと思います。ぜひ、自分たちが頑張ったことに誇りと自信をもち、さらに向上しようという気持ちを高めてください。そして、皆さんが活動するにあたっては、熱心に指導に当たられた先生達がいること、陰にはご家族の方の大きな支援や励ましがあったこと、地域の方などの応援や理解があったことに、ぜひ感謝の気持ちをもってください。

さて、9月の始業式では皆さんに3つのことをお願いしました。「目標をもって主体的に学ぶこと」「相手の立場に立って物事を考えること」「糞谷中生としての誇りをもって生活すること」の3つですが、いかがでしたか。

今日、3時間目の学活で担任の先生から、皆さん一人一人に通知表が手渡されますが、各教科の評価・評定からは、とくに3年生で1学期よりも向上した生徒が多く、学習面での頑張りが確認できます。そして、他人の先生が皆さん一人一人のことをよく考え、時間をかけて書き上げた所見からは、自分の役割に向き合い責任をもってしっかりと果たしてくれた生徒、そして目立たないところでも誠実に努力した生徒が、本当にたくさんいたことが分かり、心から嬉しく思います。

印象に残った所見を紹介します。

「先生の話した何気ない説明も聞きもらさずにノートに記し、家庭学習に



つながるようにまとめることができました。」授業に主体的に取り組んでいる様子が伝わってきます。

「給食配膳の手伝いや教室の整備、掲示物の掲示など、様々な場面で気を利かせて動いてくれました。役割になくとも、何かできることはないかと、常に周りに気を配りながら生活する姿からは、思いやりの気持ちが伝わってきました。」

「相手の長所に目を向け、誰に対しても笑顔絶やさずに友達と仲良く過ごすことができます。」

相手の立場に立って物事を考えることがしかりできていることが分かります。

「給食当番や清掃当番など、自分のやるべきことにしっかりと取り組む姿勢が光っていました。」

「合唱練習の時に、毎回ピアノの準備、片付けを自主的に率先してやってくれました。いつでも、どんなことでも、気持ち良く仕事をしてくれるので、本当に助かっています。」

地道に係や当番に取り組む生徒、行事でリーダーを支えて主体的に働いてくれる生徒。こういった生徒が糞谷中の学校生活や行事を支えていることは間違いありません。

他にも様々な場面で、一生懸命に頑張ってきた人や地道に努力を続けてきた人がたくさんいることと思います。反面、十分に取組めなくて反省する点がある生徒もたくさんいることでしょう。ぜひ2学期の良かった点、悪かった点をしっかり振り返り、3学期の目標を具体的に立ててください。

また、冬休みは学期の切り替わりの時期であると同時に、新たな年を迎える時期でもあります。「1年の計は元旦にあり」ということわざにあるように、新年の夢や抱負をしっかりとって1月1日の朝を迎えてください。

寒さも厳しくなり、インフルエンザもはやってきています。規則正しい生活と健康管理を徹底し、3学期の始業式には皆さん全員元氣な顔で登校してください。特に、3年生、進路決定の大切な冬休みです。強い意志をもって、目標に向かって、粘り強く諦めず、突き進んでください。応援しています。

